

はつらつ通信

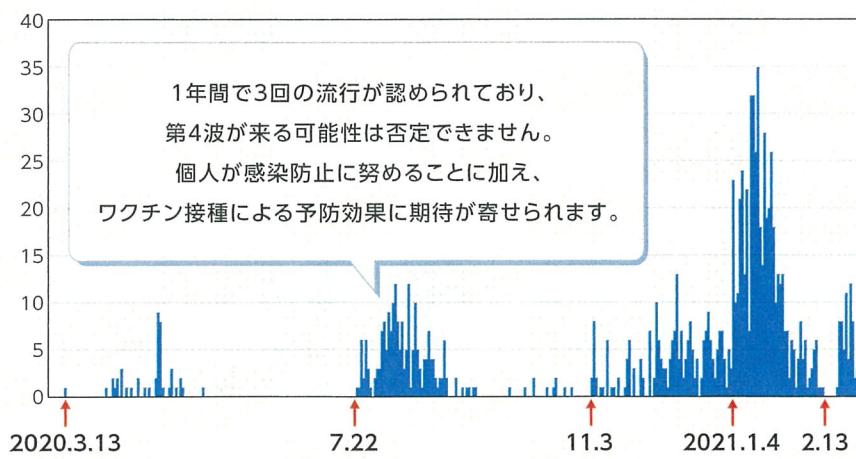
Medical Information "HATSURATSU"



新型コロナウイルスワクチンについて

佐賀大学医学部 国際医療学講座 臨床感染症学分野 教授 青木 洋介 先生

図1 | 佐賀県におけるCOVID19発生事例数(人)



佐賀県内の流行状況の推移

2020年初頭から国内で新型コロナウイルス感染症(COVID19)の流行が始まってから1年が経過しました。佐賀県では陽性第1例目の方が3月13日に確認され、以後、全国の流行状況の推移とほぼ相似形に、過去1年間に3回の流行のピークを認めています(図1)。

今回は、この感染症へのワクチン接種について考えてみたいと思います。

問題を解決すること以上に、問題を起こさないことが重要

感染が確認されると、その方の行動履歴を聴取し、接觸のあつた人達にPCR検査を施行します。感染したご本人もですが、保健福祉事務所や医療現場等も多忙となり、社会の不安もなかなか払拭できません。「起きた事を解決する」よりも、「事を起さなくする」ことの方がより重要です。

即ち、感染対策の次のステップとして「ワクチン接種」が推奨されています。

COVID19のワクチン

現時点で接種が開始されているワクチンは、ファイザー社の新しいタイプのワクチンです。

ウイルス表面の「スパイク」と呼ばれる突起がヒトの細胞に刺されることにより、感染が成立しますが、今回のワクチンは、このスパイク構造のタンパクをヒトの細胞に造りせる設計図ワクチンです。このタンパクはヒトの体が異物と認識するので、それを排除するための「抗体」が新たに作られます。そうすると、コロナウイルスが体内に入った場合でも、スパイクタンパク抗体が、ウイルスのヒト細胞への侵入を阻止することが期待されます。

ワクチン接種により感染することはない

この設計図に相当するのがRNAと呼ばれる遺伝子情報です。この構造物は、体内で速やかに

分解されます。また、麻疹んや水痘瘡のような、ウイルス粒子そのものをワクチンとして接種する訳ではありませんので、接種により新型コロナウイルスに感染することはありません。また、インフルエンザワクチンのように製造工程に鶏卵を使用することはありませんので、卵アレルギーがあつても、ワクチン接種に際し過剰な心配はありません。

予防効果および安全性について

海外で実施された臨床試験では、ワクチン接種群は、ワクチン非接種群（＝プラセボ群：ワクチンと同様の外観で、ワクチンを含まない溶液のみを打たれたが、分かりませんが、全て同意の下に行なわれています）に比べて、新型コロナウイルスへの感染リスクを95%低下させたことが確認されています（図2）。

日本でも2021年2月22日から、先行接種としてCOVID-19の診療に従事する医療従事者へのワクチン接種が始まりました。

今後、一般住民の方も接種を受けられるようになりますが、重大な安全性の懸念は認められません（厚労省）。

ワクチン接種に関する新たな知見が今後も積み重ねられるものと思います。

ウイルス変異株について



$$1 - \left(\frac{8}{160} \right) = 0.95$$

ワクチンを接種していたら、160名のうち152名(95%)は感染しなかったのではないか？



ウイルスの変異といふらの懸念事項の因果関係が確定したものはありません。感染者の増加は、変異によりウイルスの感染効率（ウイルスとヒト細胞の親和性）が増している可能性を示唆するものであり、「感染力の増加」これまでの予防効果の減弱」を意味するものでは決してありません。詳細は未だ不明のまま、メディアでは変異ウイルスのことが頻回に報じられます。変異株であつても「マスク・手指衛生・三密回避」はこれまでと同様に感染予防に十分に効果があり、かつ重要であることは変わりないとお考え下さい。



令和3年2月に承認された

新型コロナウイルスワクチンについて御紹介します

●佐賀県新型コロナウイルスワクチン接種調整チーム

令和3年2月に承認された新型コロナウイルスワクチンは、ファイザー社製のワクチンです。本ワクチンの接種費用は公費負担となり、希望者は無料で接種できます。本ワクチンの対象者は16歳以上の方とされています（16歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっています）。

本年4月以降、①65歳以上の高齢者を皮切りに、②基礎疾患を有する者、高齢者施設の従事者、60～64歳の者、③その他の者の順に、ワクチン接種が実施されます。接種の順番が来る前に、住民票がある市町村から接種券等が個別に送付され得ますので、接種を希望する場合は、その案内に沿って予約等を行ってください。

ワクチン接種を受ける際の参考として、下記のことを御理解ください。



接種順位の基本的考え方と具体的な範囲について

医療従事者等への接種

高齢者へのクーポン配布

高齢者への接種

それ以外の者への
クーポン配布

基礎疾患を有する者（高齢者以外）への接種

高齢者施設等の従事者への接種

60～64歳の者（ワクチンの供給量による）



〔※供給量等を踏まえ、各グループ内でも年齢等により、更に順位が細分化されることがある。〕

上記以外の者に対し、ワクチンの供給量や地域の実情等を踏まえ順次接種

今回接種する
新型コロナウイルスワクチンの特徴

このワクチンは、mRNA（mRNA）ワクチンであり、主成分は、新型コロナウイルスのタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の一部の設計図となるmRNAを脂質の膜に包んだものです。

ワクチンの効果と投与方法

本ワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。発症予防効果は約95%とされています。

○腕の筋肉内に1回あたり0・3mlを接種します。

○1回目の接種後、通常、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。接種後3週間を超えた場合は、速やかに2回目の接種を受けてください。



予防接種を受けることができない人

次にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。

- 明らかに発熱している人
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症の既往歴のある人
- 右記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

予防接種を受けるにあたり 注意が必要な人

次にあてはまる方は本ワクチンの接種について注意が必要です。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害の人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状が出た人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人 妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人。
- 過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人

接種を受けた後の注意点

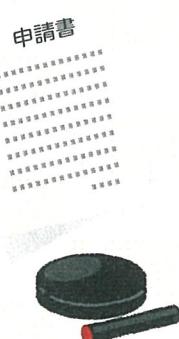
本ワクチンの接種を受けた方は、接種後15分以上(過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたものがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上)、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに関係者へ連絡してください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起ころる重大な副反応として、アナフィラキシー・ショックがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンであるため、これまでに明らかになつていらない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、相談センター等に相談しましょう。

予防接種健康被害救済制度について

今回の予防接種によって健康被害が生じた場合に、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられる場合があります。申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町にご相談ください。



相談先について

【接種の日程や予約に関するこ】 住民票のある市町へお尋ねください。

【副反応等に関するこ】 佐賀県新型コロナウイルスワクチン
副反応等相談センター

TEL 0954-69-1105

